
描いた夢

dony

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

描いた夢

【Nコード】

N7661Z

【作者名】

dony

【あらすじ】

大学生、一人暮らしをする男の子 柳 秀。ルックスは良いほうで、性格も運動神経も良い。でも恋に関しては偏差値40程度。そんな彼のもとで起こるライフストーリー。

第一話 前編

.....

「ねえ！先生？ねえってば！」

「あ、悪い。ポケットとしてたわ。」
と頭をポリポリ掻く青年。

「馬鹿、馬鹿、馬鹿。このアンポンタン！」
とほっぺを膨らます少女。

「ごめん、ごめん。さあ課題できたか？」

「うん！」

と可愛い笑顔で返す。

「どれどれ.....」

俺、柳秀。今年大学生になった。法学部。全国的に有名な大学で、学力レベルも高い大学に入学。で高い学力の大学生つというのを利用し、家庭教師のバイトを主にやっている。他にも喫茶店のバイトなどをやり、一人暮らしをしている。実家からは大学に通えないため、一人暮らしをすることになった。仕送りもあるが、いつまでたっても親離れできない人になりたくなく、一種の社会勉強としてバイトをしている。

で今家庭教師のバイト中だか・・・こんな調子だ。でも職務怠慢とかいうわけじゃない。この女の子橋本結衣はしもとゆいには2か月弱教えてるが、中間テストで上位に立たせた。親御さんと結衣は大喜び。なんとか教師としてまっとうしている。ちなみに結衣は高2。

「どう？先生？」

「あゝミスだな。ここ。」
と指摘する俺。

「う〜〜〜〜」
しょんぼりする結衣。

「まあまあ。このところは受験でも狙われていて、多くの受験生が苦戦するところだから。」

「先生は？苦戦した??」

「全然。言つたる？俺は日本史学得意だつて。」

「う〜〜〜〜。先生に勝てる教科ないかな？」

「無い。」

「さっぱり言うな！このポケットと野郎！」

こんなやりとりが交わされる中、

ザーーーーー

「あつ…雨だ…」

くそつたれ！今日降らないって言ってたじゃん！」

「先生バカだね〜梅雨の時期に雨降らないっていうのがおかしいじゃない…！」

と勝ち誇った顔をする結衣。したり顔ってこいいうことだな…

「でなんでこんな沈んでんの？もしかして傘忘れたとか？」

「いや…ベランダに服乾かしてた…」

「ばか〜ばか〜。ざまあみる。」
とまたもしたり顔。

「はあ…。気取り直してやるぞ。」

「は〜い。」

なんでかこの後の結衣が上機嫌だった。結構いい具合に進んだ…

「じゃ、お邪魔しました。」

「いいえ。こんな夜遅くで大丈夫ですか？雨もすごい勢いで。」

この人は結衣の母親の奈央^{なほ}さん。高校生の親の割には若く見えて美人さん。そのDNAを引き継いだのか結衣も結構可愛い。

「いえ。大丈夫です。では。」

「バイバイ〜先生〜」

と笑顔で手を振る結衣。

「おう。じゃあな。」

とドアを閉め、一軒家を出た。

「はあ〜雨。ヤバいつて。洗濯物乾かないし、溜まるし。不運すぎる。」

しょんぼりしてそのまま駅に行き電車に乗り家へ歩いて帰る。今日は月曜…一週間の最初の日がこれじゃ今週なにかが起ると彼は思った。この後本当に彼の身に起こるとはマジでは思っていなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7661z/>

描いた夢

2011年12月25日00時50分発行